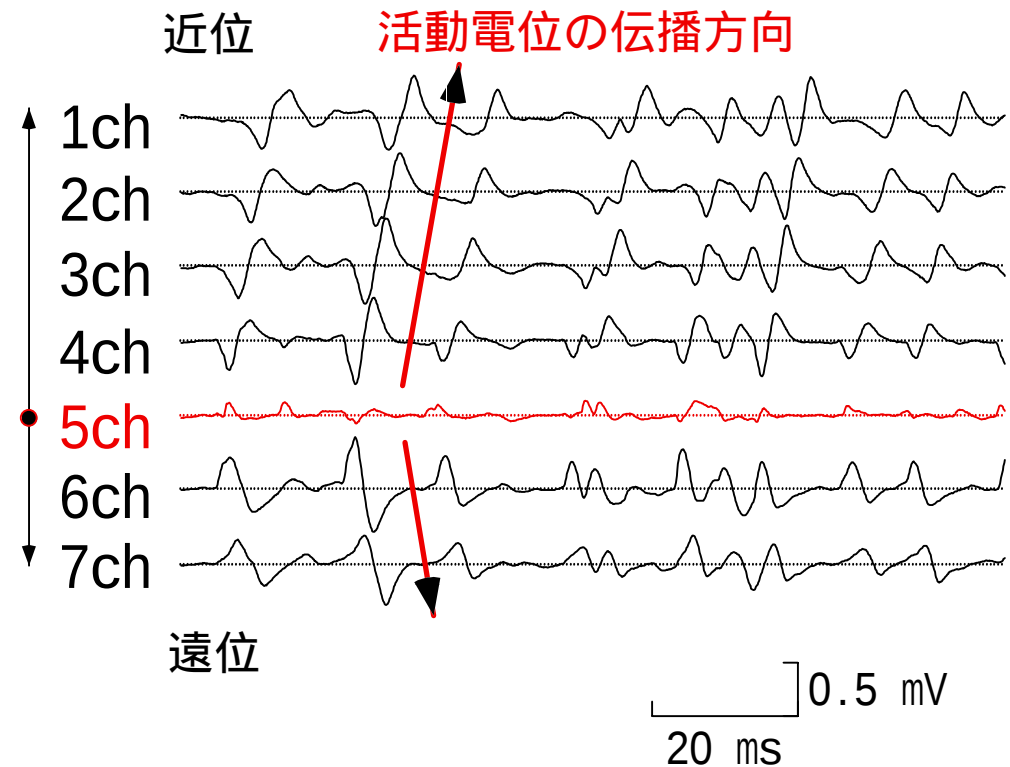
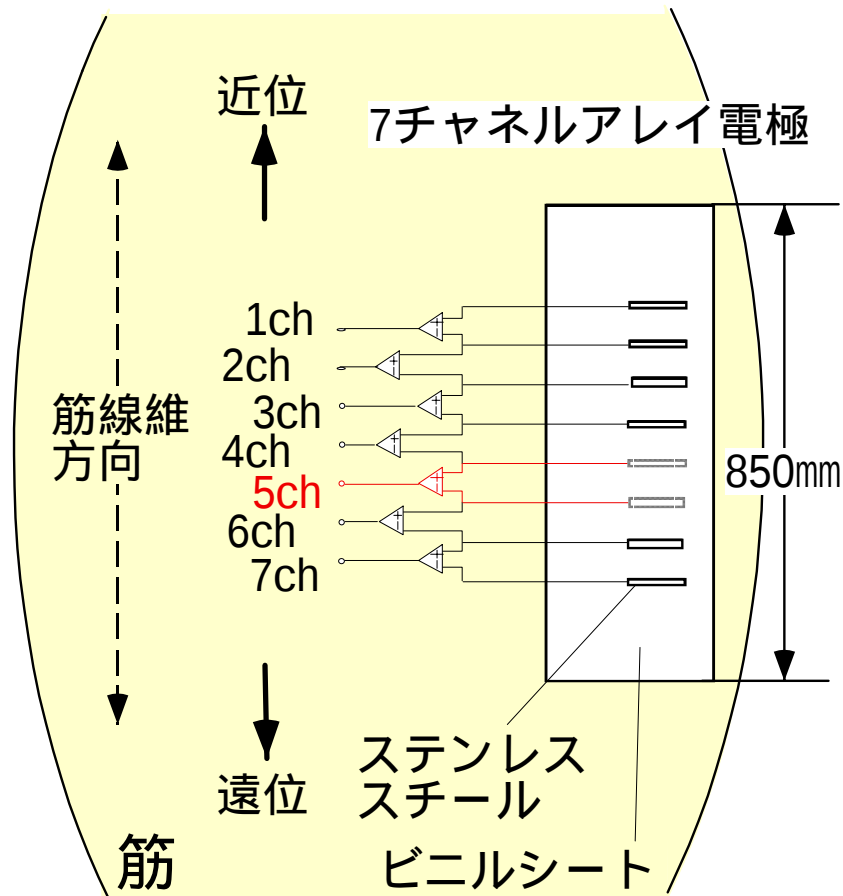


Practice

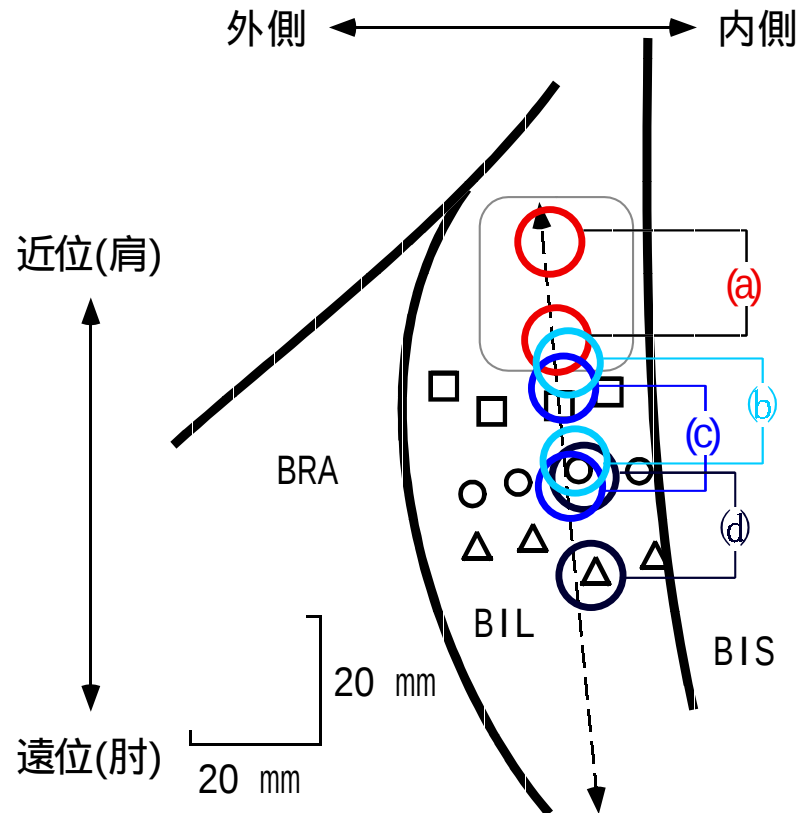
- 表面筋電図で動作識別をするには, どんな情報が使えるか?
 - 振幅に反映されているものは何か?
 - 周波数成分にはインパルス頻度の情報が含まれているか?
 - どれくらいの数の電極, 筋の数で動作を計測すればよいか?

電極配置の影響



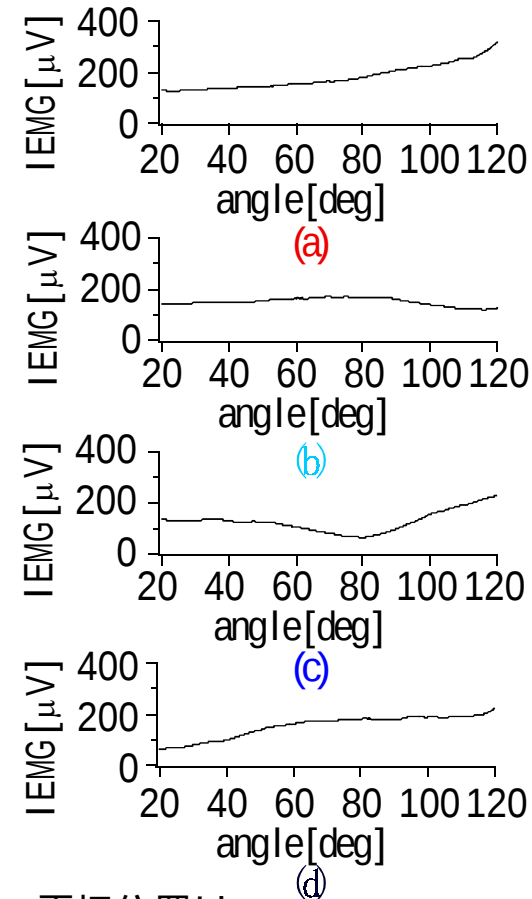
種々の電極位置で計測された運動時のIEMG

神経支配帯の分布と決定した電極位置
(右上腕)



- : 肘関節角度 120 deg での神経支配帯
- : 肘関節角度 60 deg での神経支配帯
- △: 肘関節角度 0 deg での神経支配帯

(被験者TT, BIL)

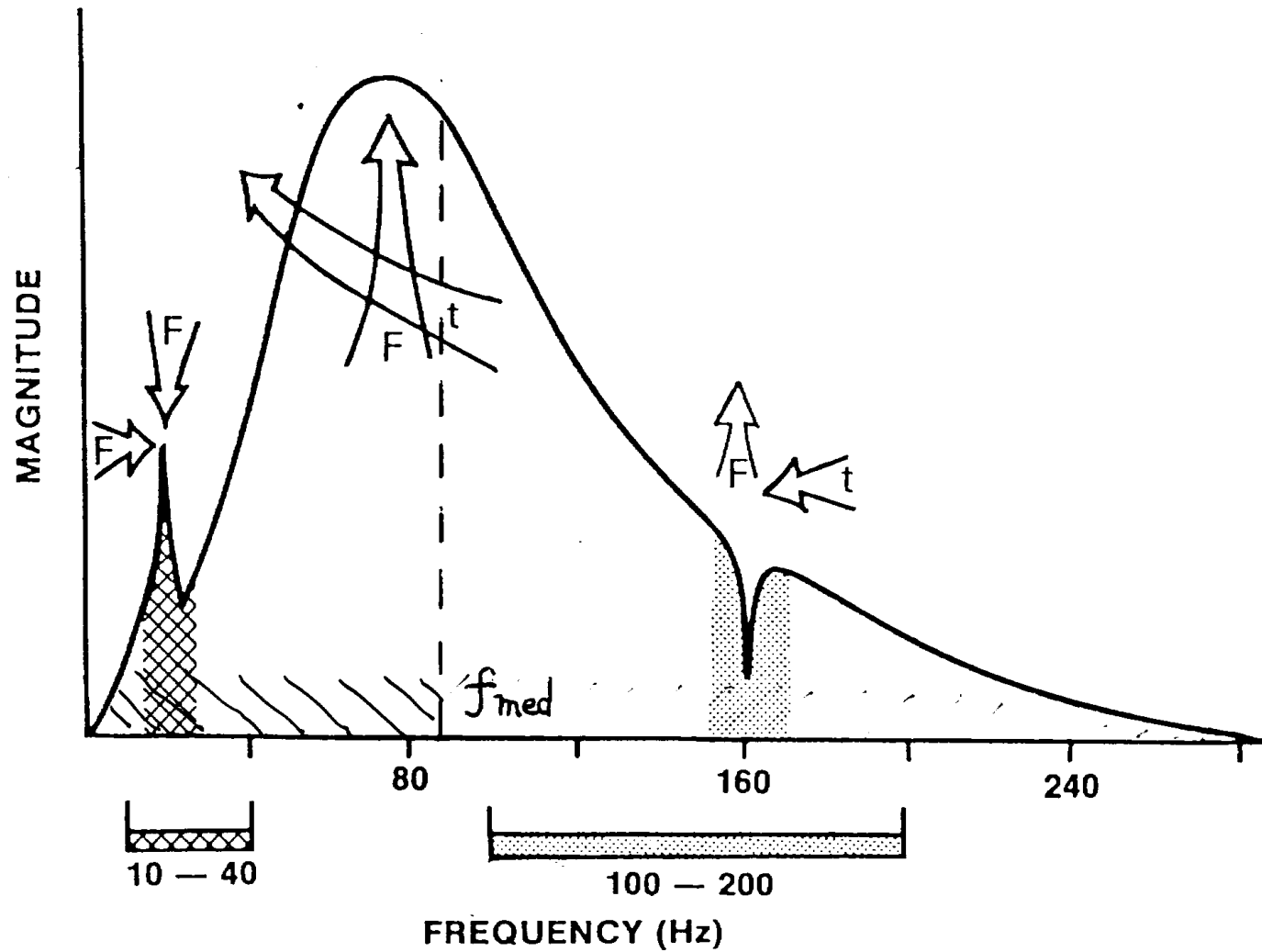


電極位置は

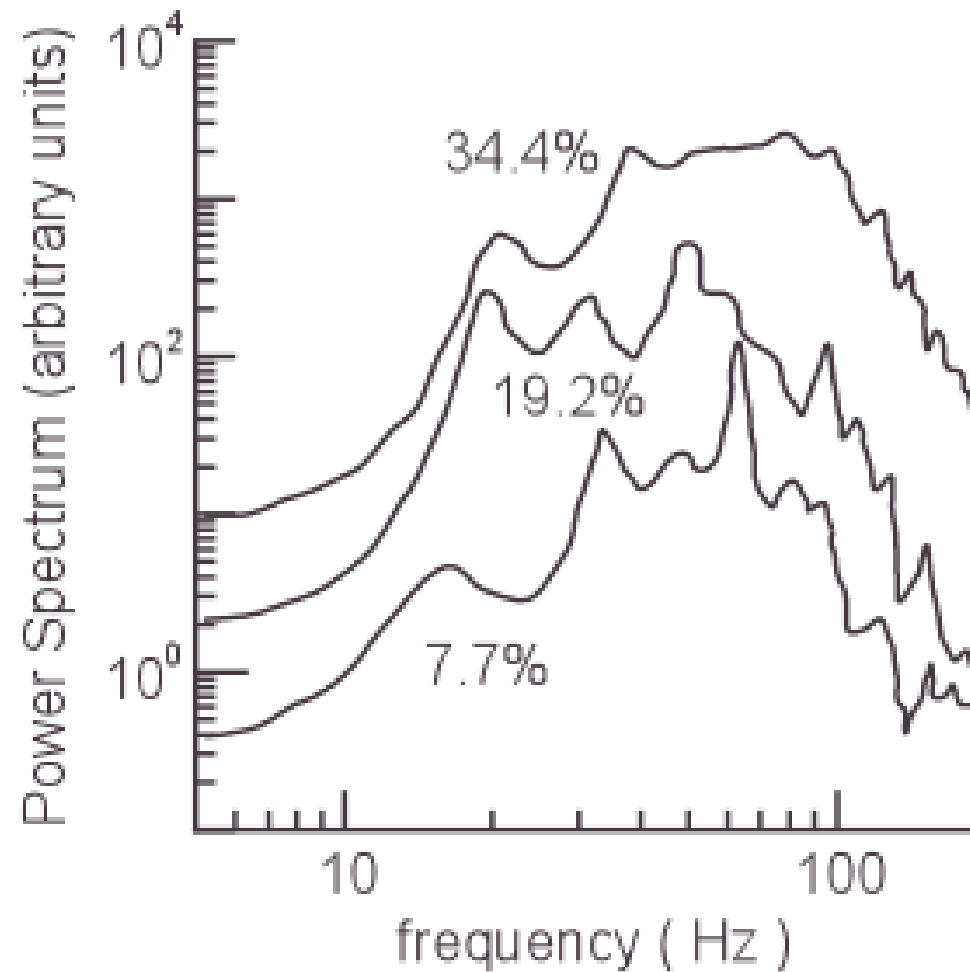
(a): 本手法により決定した位置

(b)~(d): 神経支配帯上

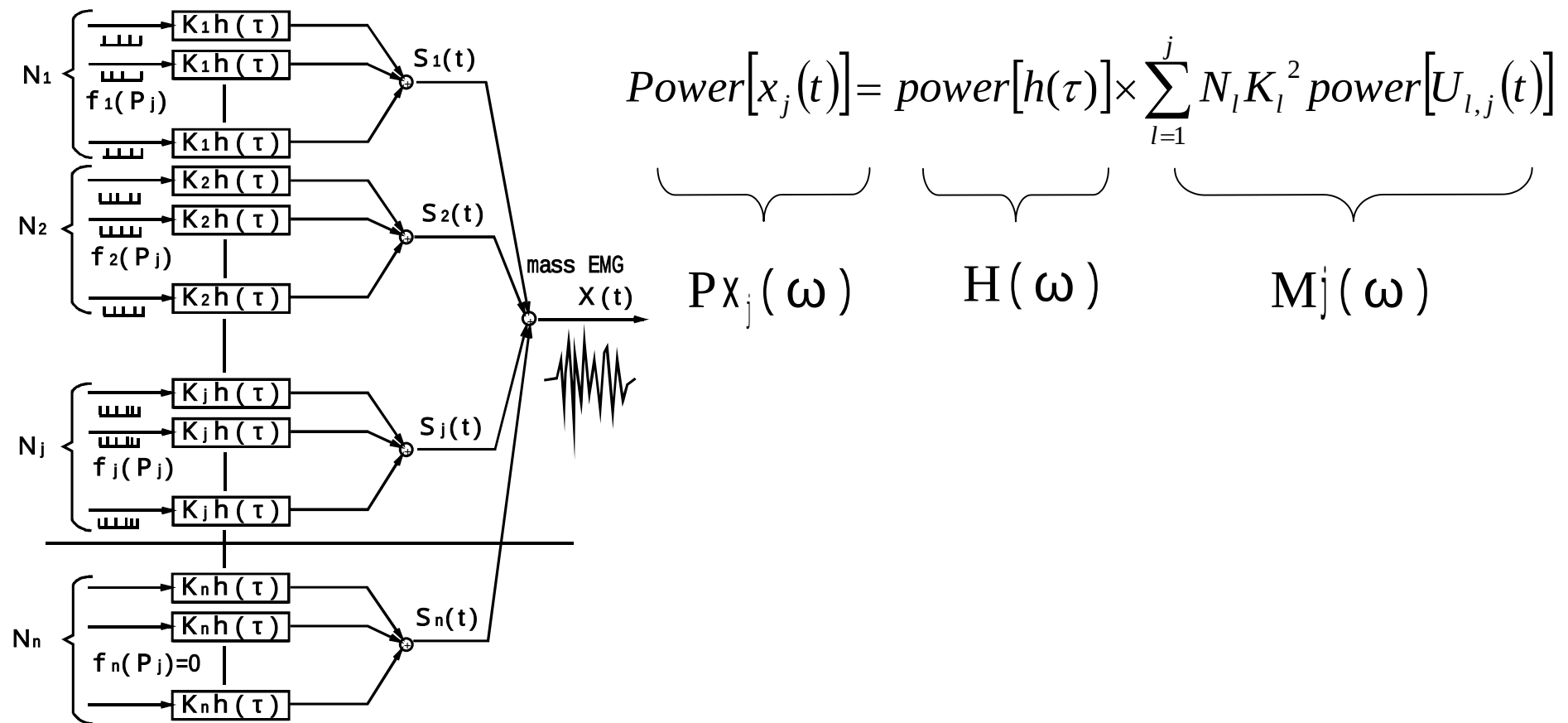
筋電図の周波数成分 (Muscles Alive)

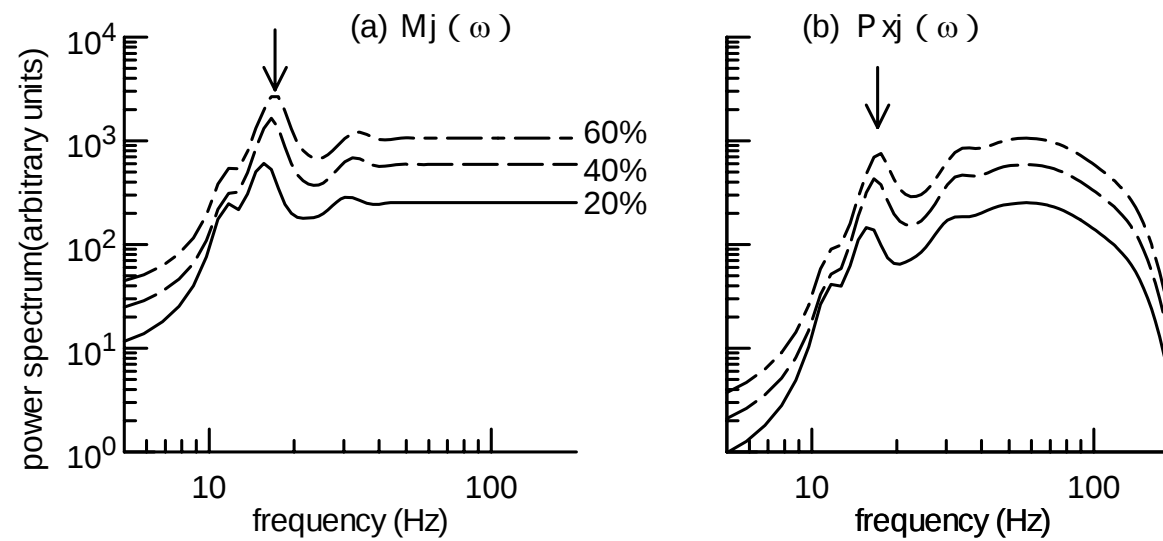
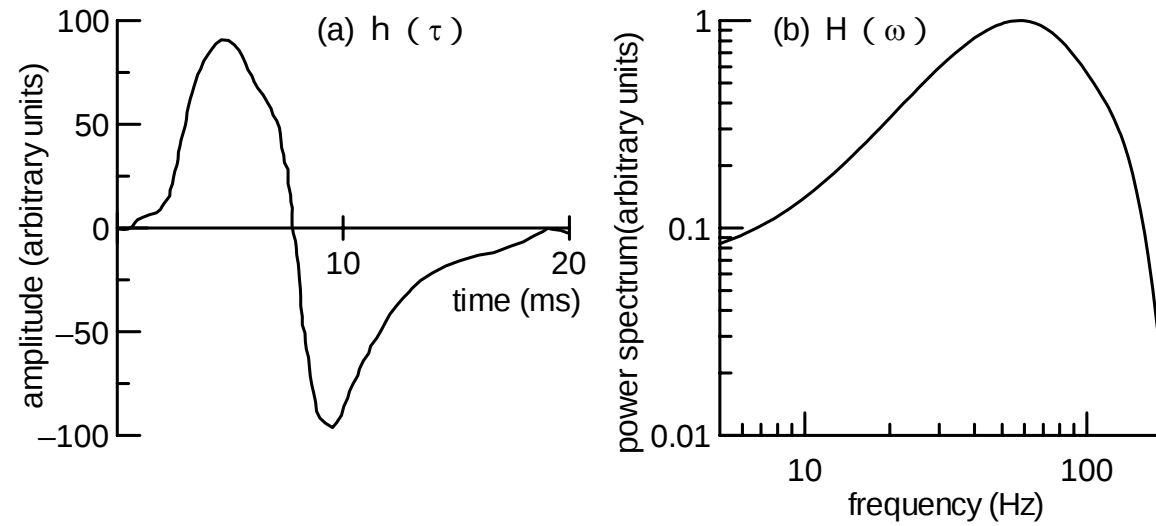


実際の筋電図の周波数成分



モデルによる解析





どれくらいの電極の数を用いればよいか？

